

## 第 22 回米子市水道事業審議会 会議録

○開催日時 平成 29 年 2 月 22 日（水）  
午後 1 時 28 分～午後 2 時 28 分

○開催場所 米子市水道局大会議室

○出席者

**出席者（敬称略）**：住田篤美・田中俊行・祝部大輔・小椋あけみ・  
和田季子・大和紀恵・吉居 努・八尾俊一・  
中山寿子・稲田祐二・新田ひとみ・王島幸子・  
井藤津加代

**米子市水道局**：中原水道事業管理者・八幡副局長兼計画課長・  
星野次長兼施設課長・松田次長兼給水維持課  
長・金田次長兼総務課長・松田営業課長・森井  
水質管理課長・松前浄水課長・安村境港営業所  
長・住田主査兼施設課改良係長・本池主査兼浄  
水課水源管理係長・湯崎総務課長補佐兼会計係  
長・山内総務課主幹・白須計画課主幹・事務局

○日程

### 1 議題

- (1) 平成 29 年度の当初予算（案）について
- (2) 庁舎建設事業の進捗状況について
- (3) 平成 29 年 4 月 1 日付機構改正について
- (4) その他

### 2 事務連絡

○公開または非公開の別  
公開

○傍聴者数（報道関係者を除く）  
1 名

○会議資料の有無  
有り

○問い合わせ先  
米子市水道局計画課企画調査係（電話 0859-32-6112）

## 1 議題（議題の概要及び質疑）

### (1)平成 29 年度の当初予算（案）について

＜案件説明：湯崎総務課長補佐兼会計係長＞

#### 編成方針について

平成 19 年度に策定した 10 年間（平成 20 年度～平成 29 年度）の水道事業基本計画を基にし、更に検証を加えたものにした。

経常収支についても、独立採算制に基づく経営者の視点に立ち、精査抑制した。より一層安全で良質な水の安定供給を図ること及び強靱で持続可能な水道事業の構築を目指し作成した。

#### 料金収入について

実績及び社会情勢を踏まえ試算した。給水収益の減少傾向はやや緩やかになりつつあり、減収を大きく見込んだ前年度の当初予算と比較してわずかに増額とした。今 3 月議会に提出予定の平成 28 年度補正予算では、当初予算と比較して約 2%のおよそ 6,000 万円のプラス補正を行う。

#### 建設投資について

投資的経費については、福市ポンプ場から取水する原水の安全対策のため、紫外線照射水処理施設設置事業を実施する。

また、管路の耐震化及び長寿命化対策として、優先度を考慮し老朽管更新事業及び国道 431 号の水管橋更新事業を実施する。

現在、水道事業基本計画の作成についても取りかかっており、さらに長期的なアセットマネジメントも加え、精査を重ねている。

#### 予算規模について

##### ◇収益的収支（税込）

収入総額は、35 億 9,766 万円で、給水収益微増のため前年度と比べて 1.4%増加とした。

支出総額は、31 億 8,370 万円で、減価償却費などの増加により前年度と比べて 2.9%の増加となった。結果、純利益は 4 億 1,395 万円とした。

##### ◇資本的収支（税込）

収入総額は、5 億 8,562 万円で、主に企業債の減少により前年度と比べて 82.9%の減少とした。

支出総額は 16 億 8,142 万円で、大きな事業が終了したことにより、前年度と比べて建設改良が 64.5%の減少とした。

## 平成 29 年度主な事業計画について

### ◇継続して行う施設整備事業

配水管改良事業は前年度と比して、約 6,000 万円増を見込んでいる。

老朽管更新事業及び国道 431 号線水管橋更新事業は年次的に行っているものであり、老朽管更新事業に関しては、前年度と同額を計上している。国道 431 号線水管橋更新事業に関しては、境港市御崎灘橋を予定している。

### ◇新規事業

平成 11 年に完成した福市ポンプ場の水質安定のために紫外線照射水処理施設設置事業を実施する。事業費の 4 分の 1 取得を目指し、補助の申請中である。

### ◇平成 28 年度に議決された予算を繰越して行う事業

庁舎建設事業は 12 億 9,700 万円のうち 34.5%、中央送水ポンプ場建設事業に関しては 6 億 4,200 万円のうち 14.9%を繰越して平成 29 年度に実施する予定としている。

## 業務状況について ※ここからは平成 28 年度決算見込額と比較

### ◇給水人口

若干マイナス傾向だが、給水戸数はプラス傾向にある。

## 経営状況（収益的収支）について

### ◇収益的収入

近年の傾向として 0.5%から 2.5%程度の減少幅で料金収入が推移している。総収益として 0.2%の減収として見込みを立てている。

### ◇収益的支出

支払利息が若干減少している。総費用として決算見込額に対して 7.4%の増と見込んでいる。

### ◇当年度純利益

3 億 2,100 万円を見込んでいる。

## 資本的収入及び支出について

### ◇資本的収入の推移

企業債として紫外線照射水処理施設設置事業及び老朽管更新事業の財源として 3 億 1,200 万円を計上している。

### ◇資本的支出の推移

前年度大きな事業が終了したこともあり、建設改良費は平成 28 年度と比較して 70.1%減の約 10 億 2,800 万円を計上している。

企業債償還金は、少しずつ減少している傾向で、5 億 8,200 万円となり、支出合計 16 億 1,000 万円を見込んでいる。

### ◇資本的収支不足額

資本的収支不足額は減価償却費などで補填する予定としている。

### 利益剰余金の推移について

将来企業債の償還金に充てる減債積立金として1億9,300万円、繰越利益剰余金17億3,900万円を平成29年度末の予定額としている。

### 企業債残高の推移について

企業債残高は、前年度決算と比して2億7,000万円減の約131億4,100万円としている。

### 質疑応答

- 【住田会長】ただいまご説明いただきましたが、平成29年度の予算案に関してご質問がありましたらどうぞ。
- 【王島委員】紫外線照射水処理施設は福市ポンプ場に設置されるみたいですが、他の施設は設置はされないのですか。
- 【八幡副局長】この施設は福市の伏流水を対象としており、ほかの箇所は地下水でするので必要がございません。
- 【王島委員】この紫外線照射水処理施設とはどういったものですか。
- 【八幡副局長】福市ポンプ場は、日野川の伏流水を使っておりますので、通常ですと集水埋管という管に水が入ってくるのですが、どこかに水の通り道があるようで原水が入ってくる箇所があると考えられます。その結果、日野川の水質が若干不安定な状況になり、原水が入ってきますと大腸菌等のおそれもありますので、現在は数値が悪くなった場合は取水を停止しております。そこでこの紫外線装置は、皆さんご承知のようなクリプトスポリジウムといった原虫を不活性化する装置であり、設置することによって安定的に取水することができると期待しています。
- 【田中委員】資料4ページの収益的収入の箇所で、主に収益的収入の料金収入は近年0.5%から2.5%の減少幅で推移しているということですが、給水人口が反映するのとは別に他に大きい要因があるのですか。
- 【湯崎補佐】2年ほど前に冷夏がございましたが、その年は日照時間も少なく（配水量が）非常に下がった記憶があり、天候にも大きく左右されると感じています。
- 【田中委員】冷夏の時にはたくさんのお水を使ったということですか。
- 【湯崎補佐】いいえ、逆に水をあまり使わなかったということです。
- 【稲田委員】資料2ページにあります継続して行う施設整備事業の中に配水管改良事業と老朽管更新事業がありますが、直感的に老朽管更新事業を優先した方がいいのではないかと感じます。この予算の振り分け方と

してどういったところを根拠にしながら配分しておられるのですか。

【星野次長】老朽管更新事業は年限を見ながら古い順番に水道管を換えています。改良事業は下水工事などの支障移転工事等に係る費用です。

【稲田委員】簡単に言うと、老朽管ではないけれども行政が必要に応じて換えざるを得ないものが入っているということでしょうか。

【星野次長】はい。

【金田次長】財政の面から言わせてもらいますと、潤沢に資金があれば老朽管を次々に換えていきたいところではあります。やはりそこは計画性をもって換えざるを得ない財政状況もあります。老朽管更新も待たないではあります。だいたい1億円の計画をもって更新準備をしている状況でございます。

【田中委員】米子市水道局管内でコンクリート管が残っているようなのですが、このコンクリート管の改修は急ぐものなのでしょうか。

【松田次長】コンクリート管というものはあるのですが、おっしゃられているのは老朽管としての位置づけの石綿セメント管というもので解釈してよろしいでしょうか。

【田中委員】いえ、コンクリート管自体が残っているということなのですが。

【松田次長】コンクリート管は今説明いたしました福市取水の外にある部分がコンクリート管で大口径としてあるだけです。しかし配水管としての石綿セメント管というものはございますが、コンクリート管はございません。

【中山委員】新しく完成した配水池ですが、これは工作物になるのでしょうか。この配水池に関しましての耐用年数についてお聞きしたいのですが。

【八幡副局長】法定耐用年数でしょうか。

【松前課長】一般的に鋼構造物ですと40年という年数を設定されていますが、完成しました配水池に関してはご存知のとおり耐震型のステンレス製です。今までこのステンレス製でこういった物を扱った実績がないため、実際何年というものが定められている訳ではないのですが、メーカーいわく100年でも使えると言われていています。一応アセットマネジメントの方では、100年を目安に次回の更新は考えていますが、耐用年数に関しては設定されておりません。

【中山委員】減価償却の計算をする上では耐用年数は必要になってきますよね。

【湯崎補佐】会計上の法定耐用年数で考えますと約60年程度と考えています。

【新田委員】予算の編成方針として、独立採算制に基づく経営者の視点と、より一層安全で良質な水の安定供給を図ること及び強靱で持続可能な水道事業の構築を目指したとあります。そこで私のところに寄せられている意見の中に淀江の産廃事業が始まろうとしている件がございます。境港の友人などはこの事業が始まることによって境港の水は大

丈夫だろうかという声も聞きました。また、一方でそれらについての安全性も住民や専門家の意見として賛否両論あるのも承知しています。そこで米子市水道局としてこの産廃事業に係わる水の安全性についてどのように考えておられるのでしょうか。

【八幡副局長】当初、水道局といたしましては大山山麓西部域の水資源という報告書を作っておりまして、この段階でいきますと現在の産廃の場所では福井水源地には影響を与えないという結果になっております。ところが、今年の1月11日だったかと思いますが、米子の方で勉強会がございまして、その中に私どもが大変お世話になっております先生が参加をされ、突然ではありましたが福井の方に影響があるかもしれないと発言をされました。そのことに起因して、真意をご本人に伺いましたところ、当初の解析データ以降に新たなデータが出てきて、それを見る限りですと福井に少し傾斜していると認められるということが判明し、もし仮に工事をすることで排水の水が漏れた時には、その漏れた水が福井の方に流れる可能性があるということは確かにおっしゃられていました。ただ、今は新しいデータをもとに新たにデータ解析をしている最中であり、当初2月の中旬頃に報告を受ける予定ではありましたが、未だに報告があがっておりません。そのような中、昨日連絡を先生にとりましたところ、膨大なデータであることからまだ結論が出ていないということでした。現段階では、水質に影響がないということでしたので、水道局では表立って反対はしておりませんが、もし万が一水質に影響を及ぼすということになれば安全な水をお届けするという立場上、何らかのアクションを起こさないといけないと考えております。

【新田委員】そういう意味では、疑わしきは絶対に使わないといった安全性重視の立場で、不明瞭であるならば尚更使わないというのが原則だと思っておりますので、県が進めるということで市もその方向で進めるのでしょうか、安心安全を守るという信念のもと水道局では市民の水環境を守るという意味でしっかりとそのあたりを検証していただきますようお願いいたします。

【八幡副局長】はい。ご意見頂戴いたしました。

【新田委員】資料3ページにあります動力費というのは、水道水をお届けするために必要な電気料金とありますが、電力という意味で現在では自然エネルギーの問題として、例えば中国電力さんから買われたりとか、実際に米子市自体も今、屋根貸しをされたりとか新エネルギーの取組みをされていますが、水道局では現在建設中の新庁舎においても何らかのものを考えておられますか。

【八幡副局長】今水道局が考えておりますのが屋根貸しでございます。屋根の上にソーラーパネルを載せ、設置業者が電力を売電します。我々に入ってくるのは年間約5万円程度でこれは20年貸しますのです、トータ

ル約 100 万円屋根貸料が入ってきます。

【新田委員】是非、地産地消でこういった取組みはお願いしたいと思います。

【八幡副局長】わかりました。

【田中委員】新しい車尾送水ポンプ場のポンプのことですが、このポンプはかなり効率的に省エネで使えるものではないかと思えます。そうすると平成 30 年度以降には動力費はかなり下がると思われるのですが、そのあたりの見積りというのはあるのかどうかお聞かせ願いたいのですが。

【松前課長】今検証の最中でして、これから庁舎を移転するのに伴いこの車尾送水ポンプは、かなり効率的なポンプであるのは確かであり、動力費が減少するのは確かに減少するのですが、具体的な数値は算出していません。これから検証していくことになるかと思えます。

【住田会長】ご意見はほかにありますか。

【新田委員】企業債というのはいったいどこから借入れているのでしょうか。

【湯崎補佐】財務省の財政融資資金から借入れています。

【住田会長】他にございますか。そういたしますと平成 29 年度米子市水道事業会計予算についてはご提案と説明をいただいたという事で、当審議会としては承認するという事によろしいでしょうか。

……………（一同賛同）……………

では、そういう事によろしくお願いいたします。

## (2)庁舎建設事業の進捗状況について

< 案件説明：星野次長兼施設課長 >

平成 29 年 6 月竣工予定の中建築主体工事を美保テクノス・平田組・大協組 JV が請負施工中であり、主に庁舎棟、倉庫棟、車庫棟の建築で、庁舎棟は 1・2 階の躯体工事が終わり、現在は 3 階を施工している。倉庫棟は躯体工事も終了し、内外装工事に着手しており今後は車庫棟の建築工事にも着手する予定としている。1 月末現在の進捗率は 48.8%となっている。

また、屋根貸事業については関係機関との申請等を進めており、庁舎棟屋根工事終了後にソーラーパネルを設置する予定としている。

### 質疑応答

【住田会長】なにかこの件でご質問等はございませんか。

平成 29 年 6 月竣工予定ということはだいたいこの線でいくと間違いないということでしょうか。

【八幡副局長】はい。

【住田会長】わかりました。ではこの件はこれでよろしいでしょうか。

### (3)平成 29 年 4 月 1 日付機構改正について

＜案件説明：金田次長兼総務課長＞

昨年、新配水池が完成したことにより、これまで車尾水源地には車尾配水係、戸上水源地には戸上配水係とそれぞれが配水業務を行ってきた。この配水池完成により、配水方法が変更になったことで、各々の業務を一元化し今後は戸上水源地を拠点に配水業務を行っていく。

また現在、平成 30 年度から向こう 10 年間の水道基本計画と同時に 100 年計画であるアセットマネジメントと共に中長期的な事業の方向性を定め、引き続き責任ある安定給水を行うための事業計画案を作成中である。

一方、給水収益の減少が続いている中、安定的に健全経営を行うためには常に財政計画の精査及び見直しを図り、これらをより強固に実行するための今後の体制作りが重要と考え、局内の統合・廃止を含め協議を重ねてきた。

◇計画課 新配水池事業を行うために設置していた「施設課:計画推進室」を事業完了と共に廃止し、将来に渡る水道の計画・推進強化を図るためこれまで「計画係」としていたものを「計画推進係」という名称に改める。

◇総務課 これまで計画課所管であった「工業用水係」を総務課所管に移管し、さらに基本計画及びアセットマネジメントに係る財政計画の強化体制作りとして財務部門を独立させ、「会計係」を「財務係」及び「契約管財係」に再編する。

◇浄水課 戸上水源地にある浅井戸を地表面に影響を受けない深井戸に更新する重要な計画を立てている。さらに出先機関である水道施設の老朽化も進んでおり、これらの更新も計画性をもって実行するために新たに「整備係」を設置することとしている。

◇給水維持課 近年給水人口が減少する中、新設の申込みは増加傾向にある。申請における審査・検査部門を分けることでスピード感を持って多様化するお客さまニーズに対応し、より業務内容が分かりやすくできるよう課名及び係名を再編する。

【住田会長】 そうしますとこの件に関して何かご質問等がございますか。

【吉居委員】 課によっては係が増えるところや減るところもある。担当係長はそれぞれに配置されるのですか。

【金田次長】 はい。一係に一係長が配置されます。

【吉居委員】 新しい庁舎になれば新しいパソコンなどが入ってくることと思います。それらによる情報収集・戦略的な、いわゆる情報室的なものは考えておられますか。

【金田次長】 情報にも様々あると思いますが、それぞれ必要な情報はそれぞれの課で進めて高いアンテナを張りながらやって行きたいと思っています。



【吉居委員】いかに情報収集してお客さまに対応するか、いわゆる情報戦略係なんてものがあると素晴らしいと思うのだが。

【金田次長】改正の理由にもございましたが、基本計画やアセットマネジメントと言ったこれからの水道局の将来像を担う担当部署として計画推進係ですとか、財政計画の中心的な役割として財務係、安心安全な水の供給に係る浄水課の整備係にありますように、それぞれ中心を担う係があります。その係ごとに配置された職員は各々の情報には敏感に感じながらやってくれると考えております。

【吉居委員】わかりました。

【住田会長】ではほかにありませんか。よろしいでしょうか。ではこの機構改正の件については終わらせていただきます。本日の議題は以上ですが、委員さんから他に何かご意見等がございますでしょうか。

【吉居委員】じつはこのたびの大雪で道路に雪が積もって車が出せない状況の中、早々に出勤された5～6人の水道局職員さんに手伝ってもらい、雪かきをしていただいたお陰で事なきを得たと近所の方からの声を耳にいたしました。その節は水道局の職員の方々にお世話になり、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

【八幡副局長】困ったときはお互いさまの精神でやはりこういうことは普通の務めだと思っておりますのでお気遣いされずに、気兼ねなく言っていただければと思います。

【八尾委員】昨年11月末に産経新聞による水道施設存続危機というニュース記事が掲載されておりました。それを読みますと、人口減による慢性の赤字が続き、それに伴って水道管路などが立ち行かなくなるといった中身で、有識者会議を経て厚労省でまとめ、今後国会に水道法改正といった方向で進めているということです。

米子市においては管の法定耐用年数を超えたものは1桁しかなかったのでもとまずは安心かなとは思いますが、ビジョンも含めまして水道局ではその面に関してはどのようにお考えでしょうか。

【八幡副局長】ただ今の件に関しましては日本のみならず、世界中で起こっておることです、特にひどいのはアメリカの方です。ただ日本国内におきましても合併等で広域化してしまいますと、今まで点在していた家々も全部カバーをしなければならなくなり、非常に経費がかかるというような問題点があるのも事実です。幸い米子市ではご報告したようにまだご心配をかけるような数字ではないものです。ただこれは引き続き計画性を持って進めていくものでございまして、一方で先行き不透明という報告も間違いなく入っております。

【八尾委員】そういった記事が眼に入ったものですから、どうかひとつよろしくをお願いします。

【八幡副局長】わかりました。

【小椋委員】庁舎のことなのですが、新庁舎は6月に竣工と言うことで審議会をこの場所でするのはもう最後ということだなと思ったのですが、こちらの現庁舎跡地は移転してからの活用とかは既に計画しておられるのでしょうか。

【八幡副局長】現庁舎は今度大きな地震がくれば倒壊するという診断をいただいています。庁舎移転後はこの庁舎は取り壊しをいたします。ただし、壊した後の有効活用につきましてはもう少し時間をかけて練っていかうと考えています。

【住田委員長】ほかにありますか。

【中山委員】水道ポストの方にも紹介されていますけどもこれ（・・・凍結注意新聞折込み広告を指して・・・）はものすごくインパクトがあって良かったと思います。チラシの中でも一番目立っていたし、後ろの方にも丁寧な説明文が書いてあったので参考になりました。ありがとうございました。

【八幡副局長】担当者の方にも伝えておきます。

【住田委員長】非常に対応が素早く、水道局の職員さんは自分の職責を充分自覚して動いておられ、今回のチラシの対応には非常に感心いたしました。

ほかにございませんか。では以上で審議事項は終わりましたので、事務局の方から報告事項等はございますか。

【鷺見補佐】では次回の審議会ですが、開催時期を11月に予定しております。次回は新しい庁舎での審議会になろうかと思いますが、平成29年度米子市水道事業会計決算状況をご審議していただく予定をしております。

【住田委員長】では皆様ご苦労様でございました。ではこれで第22回審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。